

# \* \* イ カ ナ ゴ 情 報 No.3 \* \*

今漁期の漁獲物標本を測定しました

**6月2日時点で体長32mmが主体，終漁時期は6月中旬か**

中央水産試験場  
後志地区水産技術普及指導所岩内支所

## 調査の概要

6月2日に，今漁期の5月15日から6月2日までに採集していただいた島牧・寿都海域のコウナゴ漁獲物標本の体長を，指導所と水産試験場で測定しました。現在までの資源状況などについて検討しましたので，お知らせします。

- ・6月2日時点で，体長32mmの群が漁獲の中心
- ・成長は0.7～0.9mm/日で，例年並みか若干速めに推移

今漁期は体長の異なる3～4群のコウナゴが主な漁獲対象となっています(図)。前報で報告しました初漁期調査(5月15日)で体長15mmであった主群(○)と19mmであった群(×)は，5月下旬に適正サイズ(22～23mm)に達し，6月2日時点で30mm台前半まで成長して，漁獲物の主体となっています。これらに群に，■および▲の群を加えた組成で，今漁期のこれまでの漁獲物が構成されています。

成長速度は，一日あたり0.7～0.9mmと例年並みか若干速めです。このままの速度で成長すると，これまでの主群(○，×)は6月中旬までに40mm前後か，それ以上に達すると予想されます。続く▲の群は，今のところ漁獲物の主体になるほど多くない状況です。したがって，現状の判断としては，6月中旬が終漁時期の目安と考えられます。

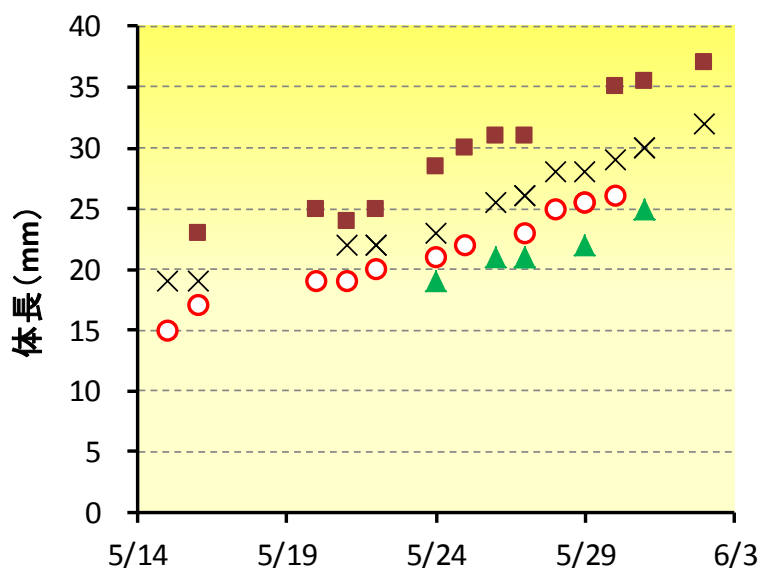


図 体長組成のモードの変化

お問い合わせ

中央水試資源管理部：0135-23-8707

水産指導所岩内支所：0135-62-0087